

東京日々新聞

千十五號

もらく薬

大坂天満の横通り、昔より「もらく薬」を賣る主い呂大夫  
 とらふ義大夫の師匠の女房の、羨麗くて賣薬より名高く京人形と  
 得が兼て此家の  
 寓公と密通する  
 と呂大夫の疾くも知  
 りて大さるる慶斗と  
 つりて女房の脊負つせ。  
 彼の寓公と呼出して年来  
 所持の京人形と足下の玩弄に進む  
 らぬ何處へありと御持るされと追出さきて  
 二人とも不覚の涙こり、薬手ふ手と出して出せり。  
 主人が語る茶理場は似たり

轉々堂

戯録



一萬の  
 芳幾  
 雙

玩具屋 渡辺彫

75  
70  
65  
60  
55  
50  
45  
40  
35  
30